

登録コード	HS420500	開講年度	2026				
授業題目	山地地殻変動論特論					担当教員	常盤 哲也 他
英文授業名	Tectonics of Mountains					副担当	森 宏・廣内 大助
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	博士_総合理工学専攻_山岳環境科学分野1 2年
				授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)	
	2026HS加, 2025HS加, 2024HS加, 2023HS加						
	【専攻】理工学系の専門分野における深い知識・卓越した技能					山地形成する地質構造について観察する能力を向上することができる．日本列島の形成について深く考察する能力を向上することができる．	
(2)詳細 /Detailed information	山地を形成させるためには、応力が必要である．プレート収束帯に位置する日本ではプレートが山地形成の大きな応力として働いている．本授業では、山地や日本列島を形成させるまたはさせた応力をその変遷とともに学ぶ．この変遷においては、地層に残された履歴をひも解くことで明らかにされており、このひも解く手法について学ぶ．また、学んだ山地や日本列島の形成についての残された課題についての議論を行う．						
(3)授業の概要 /Overview of course	山地形成の原動力であるプレート運動と日本列島の形成過程について既存研究を基に学び、この過程が解明されていた手法を整理する．具体的には、論文を基に山地および日本列島の形成過程を整理し、残された課題についての取りまとめを行う．						
(4)授業計画 /Course plan	1～5回；日本列島の地質（現地実習を伴う） 6～10回；山地・列島形成の原動力（現地実習を伴う） 11～14回；残された課題の整理（現地実習を伴う） 15回；総括（レポート課題）						
(5)成績評価の方法 /Grading/evaluation method	提出されたレポートにより評価する．日本列島の地質や山地・列島形成の原動力の理解度、残された課題の的確さがレポートに表現されているかにより評価する．						
(6)成績評価の基準 /Grading/evaluation criteria	日本列島の地質や山地・列島形成の原動力の理解度、残された課題の的確さがレポートに表現されているかを基準とする。S: 十分な理解ととりまとめがなされている、A: 極一部に理解不足が認められるものの、とりまとめがきちんとなされている。B：一部に理解不足が認められるものの、とりまとめがきちんとなされている。C: 理解不足が散見され、レポート内容にも不十分な部分があるもののとりまとめがおこなわれている。D: 理解不足が明らかで、レポートの取りまとめが稚拙である。						
(7)事前事後学習の内容/Prep and review work	講義ごとに、講義内容を理解する上で適切な論文を紹介するので、受講者はその論文を熟読すること．なお、講義のはじめに前回の講義で紹介した論文について質疑応答を行う．						
(8)履修上の注意 /Notes	現地実習を伴うため、交通費・宿泊費等が発生するとともに、学生研究災害傷害保険に必ず加入のこと．						
(9)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	授業終了後および授業時間以外にも、対応可能な場合はいつでも研究室（理学部C棟410）において対応する．						
(10)授業の形式 /Course format	講義を行った上で、その知見を用いた討論を含む双方向形式．なお、受講生の理解度が高く、受講生の希望があれば現地での討論を行う．						
【教科書 /Textbook(s)】	指定しない．						
【参考書 /Reference work(s)】	指定しない．						